

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2018-99679 (P2018-99679A)

【公開日】平成 30 年 6 月 28 日 (2018.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2018-024

【出願番号】特願 2017-226391 (P2017-226391)

【国際特許分類】

B 0 1 J 35/10 (2006.01)

B 0 1 J 37/03 (2006.01)

B 0 1 J 37/08 (2006.01)

B 0 1 J 37/16 (2006.01)

B 0 1 J 37/10 (2006.01)

B 0 1 J 23/44 (2006.01)

C 0 7 C 11/06 (2006.01)

C 0 7 C 7/167 (2006.01)

C 0 7 C 7/163 (2006.01)

C 0 7 C 5/05 (2006.01)

C 0 7 C 5/09 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 J 35/10 3 0 1 J

B 0 1 J 35/10 3 0 1 H

B 0 1 J 37/03 A

B 0 1 J 37/08

B 0 1 J 37/16

B 0 1 J 37/10

B 0 1 J 23/44 M

C 0 7 C 11/06

C 0 7 C 7/167

C 0 7 C 7/163

C 0 7 C 5/05

C 0 7 C 5/09

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 24 日 (2020.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 6 】

それは、L. Sorbier らによる出版物 “Measurement of palladium crust thickness on catalyst by EPMA”, Materials Science and Engineering 32 (2012) において定義されている。キャストン・マイクロプローブを用いて得られた分配プロファイル (  $c(x)$  ) から出発して、半径  $r$  を有する粒子の縁部までの距離  $y$  の関数としての粒子中のパラジウムの累積量  $Q(y)$  を計算することが可能である。